

# 令和4年度第1回山形市男女共同参画審議会会議録

日 時 令和4年6月10日（金）午後2時～午後3時20分

場 所 山形市男女共同参画センター（ファーラ）5階  
視聴覚室・研修室2

## I 出席者

- 1 委員（10名） 井上榮子委員、上條委員、鈴木雅史委員、鈴木由美子委員、沼沢委員、成田委員、菅野委員、塩野委員、武田委員、丹野委員  
※欠席委員（5名） 鈴木肇子委員、田中委員、井上賢一委員、高見委員、海老名委員
- 2 幹事（2名） 畑口企画調整部長、高橋男女共同参画センター所長
- 3 書記（3名） 古内副所長、五十嵐主幹、庄司主査
- 4 運営事務員（2名） 山本事務員、沼沢事務員

## II 傍聴者

- 1 一般傍聴者 0名
- 2 傍聴した記者 0名

## III 会 議

- 1 開会 古内副所長
- 2 委嘱状交付 畑口企画調整部長
- 3 会長あいさつ 井上会長よりあいさつ
- 4 企画調整部長あいさつ 畑口企画調整部長
- 5 委員、幹事及び書記の紹介 委員自己紹介後、幹事・書記・運営事務員が自己紹介
- 6 報告 井上会長が議長になる

### (1) 令和3度男女共同参画事業報告について（資料1）

資料に基づき高橋所長が説明

（主な質疑等）

- |    |  |
|----|--|
| 会長 | 報告への質問は、先に資料の1と2について、そのあと3, 4, 5について伺いたい。では、1と2について質問ないか。                        |
| 委員 | 2ページの(4)、山形連携中枢都市圏関連事業について、7市7町というのはかなり広いが、やってみてどういう点で有効性があったのか、課題のようなことはないか。    |
| 幹事 | 令和3年度から7市7町との連携となっている。山形市以外の方々の昨年度利用実績は、講座受講者が39名、一般相談と法律相談が23名、貸館の利用団体は19団体だった。 |

コロナ禍もあり利用が少ない状況だが、コロナの収束に伴い利用が増えていくのではないかと想定している。

会長 ほかにいかがか。なければ6ページからの3・4のところは。

委員 自主企画講座をオンラインで7回実施したとのことだが、参加率はどうか。

幹事 参加率を出してはいないが、例えばDV防止講座などは対面とオンラインで3回開催し、オンラインでは3回で9名の参加があった。対面の参加者よりは若干少なかったが、今後、講座を増やし、PRも行いながら、多くの方に参加いただきたいと考えている。

会長 コロナ禍において、オンラインの利便性が非常に評価されている。今後も、PRをしながら、対面式と並行して進めていってほしい。

委員 6ページ下の小・中学生向け出前講座と企業・事業所向け出前講座について、ファーラが学校を指名したのか、それとも学校の方から希望したのか、またその割合などは。

幹事 学校向けの出前講座については、希望があった山形市内の小中学校から5校を選んだ。ここ数年希望する学校が多いなか、報告のようにファーラの予算で実施する方法もあれば、各学校が配当予算の講師謝礼を使って独自に行うなどの方法もある。各学校が独自に実施している講座は把握していないが、ファーラ事業として5校に実施した。

会長 ほかによろしいか。

委員一同 (了承)

(2) 第4次山形市男女共同参画計画「いきいき山形男女共同参画プラン」(以下「第4次プラン」)について

本日「第4次プラン」概要版を配布し、本編は後日郵送する旨を高橋所長が説明。

(主な質疑等)

会長 (委員へ質問等ないか確認後) 「第4次プラン」の周知については、今年度の事業計画にもあるが、具体的な周知の中身を事務局から説明願う。

幹事 周知は市ホームページのほか、今回お手元にお配りした「第4次プラン」概要版をファーラの関係機関や関係者に郵送する予定。また、概要版をさらに要約した記事を広報やまがた5月1日号に掲載した。このプランを実行に移すことが周知にもつながるので、引き続き様々な機会をとらえて周知していきたいと考えている。

会長 「第4次プラン」については以上でよろしいか。

委員一同 (了承)

## 7 協議

### (1) 令和4年度男女共同参画事業計画について(資料2)(資料3)

資料に基づき高橋所長が説明し審議

(主な質疑等)

- |      |   |
|------|---|
| 会長   | 新規事業を中心に報告いただいた。2つに区切りまず1と2について、特にこの中には公民連携による新規の女性人材育成事業もあるが、皆様方から質疑をお願いしたい。   |
| 委員   | 11ページの性的マイノリティに関する実態把握はどのように始めるのか。なかなか把握するのが難しいと思うが。  |
| 幹事   | ご指摘の通りLGBTの方とお話する機会がなかなかなく、どのような機会にどう聴き取りしたらいいのか難しい。このため山形大学の先生に相談し、LGBT当事者の方に限らず、支援者も含めて対話できる機会を設けていただくなど、学識経験者に方法を相談しながら実施していきたいと考えている。   |
| 会長   | そのほかいかがか。新規事業の公民連携事業は、新しい「第4次プラン」において若い女性の地元定着が非常に重要で、その方策の一つとして行うわけだが、ワークショップに参加する20名の方の人数や工夫した内容、募集方法や応募者の状況などを教えてほしい。  |
| 幹事   | 募集は女性限定で今週締め切った。山形市に在住、在学、在勤の方やこれから市内に在勤、在住を考えている方も対象。様々な媒体で応募を行った。先週の金曜日6月3日に周知のためのトークイベント&事前説明会を開き、その参加者から多く申込みをいただいている。幅広い年代の方から申込みいただいたが、若い女性の地元定着や若い女性が目標にしたくなるような女性を育成していければと考えている。               |
| 会長   | この事業に関連してほかはないか。  |
| 委員   | 自分達やいろんな団体が今まで活動してきた、若い人がとても少ないと思っていたが、6月3日は何かやろうと思っている若い人がたくさんいて、驚いたと同時にとても嬉しかった。グループごとの意見交換にパネリストの方がアドバイスしてくれたらもっと良かった。全体としてすごく良く、続く事業も成功するよう頑張ってもらいたい。   |
| 会長   | 6月3日にもご参加いただき、感謝申し上げます。<br>6月初めの各新聞に、人口減少が予測よりも進んで、山形県は深刻だという紙面を皆さんご覧になったと思う。そういう観点からも効果のある事業になるようお願いしたい。若い女性のお手本になるロールモデルは非常に大事だと思う。集った若い方々の率直な気持ちや、普段の何気ない思いなどを大切にしながら、有効に進めて頂きたい。<br>では2のところまでよろしいか。 |
| 委員一同 | (了承)  |
| 会長   | 次は3までのところで質疑を進めたい。  |
| 委員   | 11ページの学習事業で女性学講座とか男女共同参画講座が1回になっている。昨年度ま  |

で2回だが、全体の回数から減らしたのか。1回は物足りないかなと思う。

幹事 先ほどからご説明の、資生堂、リディラバさんとの公民連携事業の回数もフェアラの事業としてカウントしているので、他の講座を減らしている。

委員 資生堂との事業はとても良いが、それによって1回減るのは残念。大変だと思うが、せめて2回くらいはやってほしい。

幹事 女性学講座は毎年恒例で参加者の満足度も高い内容。女性学講座と銘打つ講座ではないにしても、ほかの様々な講座があるので、より多くの参加者が来ていただけるよう、女性学にも含まれるような内容を考えて盛り込んでいければと思う。

委員 よろしく願う。

会長 若い女性・男性もフェミニズムとかにすごく関心があるので、回数が1回だとしても、若い人やいろんな人にたくさん参加いただけるような内容を考えていただきたい。

委員 男女共同参画都市宣言事業は、1行詩部門だけで、写真部門をなくすことでよいか。

幹事 昨年度までは写真部門と1行詩部門の2部門だったが、1行詩部門のみとしたい。写真部門は応募数が少なくなり、内容も男性の家事や共働きの様子、家族団らんなど、似通う傾向にあった。1行詩は昨年2千近くの募集をいただき、よりたくさんの方に男女共同参画を考えるきっかけになっていることから、本年度は1行詩部門のみとさせていただきたい。

会長 来年度以降は別な検討をするのか。しばらく1行詩のみか。

幹事 まだ内部で詰めてないが、いったん1行詩に注力させていただきたいと考えている。

会長 そのほか委員のみなさんからいかがか。

委員 出前講座先の小学校5校はどう選定したか。

幹事 たくさんの学校から申込み頂いたので、前年、前々年の学校を見送りし、近年やっていない学校を優先にした。

委員 企業には、どうアプローチしているか。

事務局 企業の出前講座については、毎年2回発行している情報誌フェアラ3月発行分にチラシを同封して周知した。5月の2週目で締め切ったが、2つの企業から申込みがあり、早いところは8月に実施する予定。

会長 4の相談事業について、相談件数が減っていると報告あったが、コロナ禍の状況で相談したい方は増えているように思うが、何か今年度の相談事業を進めるうえで委員の皆様からご意見等あれば、福祉相談の立場からいかがか。

|      |  |
|------|--|
| 委員   | 相談事業に関しては、コロナ禍だから増えるのではとよく言われるが、県福祉相談センターでも件数は減っている。これから少しコロナが落ち着いてくると、また顕在化してくるかと思うので、その際はしっかり対応していただく必要があるかと思う。  |
| 会長   | 育時休業法が改正になって、男性育休取得について、必ず上司が確認することになったようだが、そういう制度がスムーズにいくような相談とかご意見・助言があるか。   |
| 委員   | 企業が進めていくなか、労働局としては法律の制度を実施するための支援を行っている。女性の場合は産休・育休を自ら言うが、男性の場合は、奥様が妊娠したという情報を企業が把握できないと育児休業に結びつかない難点がある。取り組みが進んでいる企業では、早めに情報をくださいという風に男性社員へ声がけしているという話を伺っている。やはり言い出しやすい環境を作っていくのが重要かと思っている。 |
| 会長   | 各企業でそういう説明会をやっているのか。   |
| 委員   | 労働局で会社ごとの説明会や個別相談などを実施しており、各種情報も発信している。  |
| 会長   | 山形市役所内では、市長はじめ、育休取得を積極的に進めていると報告されている。山形市を含む広域連携7市7町の企業で取り組みが進めば、全体としての後押しになっていくと思う。<br>相談事業については、事務局から何かあるか。  |
| 幹事   | 今回、月別の集計を出していないが、昨年度は8月や今年冬のコロナ感染者が増えているときに相談者が減る傾向にあったため、一昨年と比べて件数が減ったのかと考えている。今年度は相談件数がコンスタントにあるので、今後ともPRをして、しっかりとした相談体制で実施していきたい。   |
| 会長   | 計画及び全体に対して質問・ご意見等ないか。特になければ、令和4年度事業計画について承認を頂いたことにする。  |
| 委員一同 | (了承)   |
| 会長   | 予定された議事は以上だが、そのほか事務局からなければ議事を閉じたい。<br>慎重なご審議をいただき、皆様からのご協力に感謝申し上げます。   |

## 8 その他

### (1) 男女共同参画に関する「一行詩」の募集について

チラシに基づき、事務局で説明

(主な質疑等)

|    |  |
|----|--|
| 委員 | 1行詩については、小学校の標語のように男女共同参画センターの玄関などに、最優秀賞2人の作品を大きくして掲示できないか。広報やまがたに載せても知らない人もいる。第20回目なので、今までと違う大きな掲示にすれば励みにもなるし、読んでくれると思う。お金もかかる提案だとは思いますが。 |
|----|--|

- 幹事 ぜひ何かできることを検討してみたい。
- 委員 男女共同参画週間のパネルもあるので、ぜひお願いしたい。  
もう一つ、今年度の（市職員）女性管理職について、増やす目標だったので上がると思っ  
ていたら、今回1.4ポイント減ったのは何か原因あるのか。ちょっとがっかりした。
- 幹事 （山形市役所では）昨年4月1日の女性管理職の割合は19.5%だったが、今年4月1日に  
は、残念ながら18.1%ということで、若干下がってしまった状況である。
- 幹事 山形市では市長を先頭に男女共同参画を一生懸命やっているところで、人事については企  
画部門ではなく総務部が担当し、女性管理職を増やすことに重きを置いて人選している。  
なかなか途中の情報は入ってこないが、全職員の年齢構成を見ると管理職適齢期の女性職  
員が少なく、退職者が多いようだ。昨年度までセンター所長だった草刈が4月から環境部  
長となっているものの、女性の部長は3月で2名退職し、新規部長に上がった女性は1名  
のみだった。新たに課長等の管理職になった女性職員も一定数いるが、割り算するとご指  
摘通り残念な結果になっている。
- 委員 昨年の審議会で見解を出し合って目標値を決めた。市役所で頑張らないと民間企業はなお  
難しいと思う。方法を考えないと目標達成するのは相当厳しいのではないかと。
- 幹事 そこは私どもも非常に危機感を持っている。職員の構成を見ると、年代が若いほど女性職  
員の割合が高い。女性全体の割合が増えれば当然今後は女性管理職も増える状況になっ  
てくる。まだまだ一足飛びに直ぐという状況ではないが、目標に向けて引き続き頑張りたい  
と思っている。
- 委員 女性委員や女性管理職の比率が下がってしまったのは、とても残念である。才能のある  
方、能力のある方は男女関係ないと思うので、山形市のためにぜひ頑張ってもらいた  
い。よろしくをお願いします。